

「総合的な探究の時間」全体計画 ⇒ 実施計画 論点整理

学校の教育目標	<p>生徒一人ひとりの個性を伸ばし、グローバルな視点を持って高い志をはぐくみ、主体的に生きようとする「人生の物語を編める生徒」を育てる</p> <p>(1) 生徒の高い志をはぐくみ、希望する進路実現のための学力を育てる</p> <p>(2) 世界的な視野を持ち、多様な文化・価値観を持った人々を理解し、協働できる生徒を育てる</p> <p>(3) コミュニケーション力を身につけ、自分の言葉で自分の考えを表現できる生徒を育てる</p> <p>(4) 校訓である「自他敬愛」の心をはぐくみ、互いに支え励ましながらか成長できる生徒を育てる</p> <p>(5) 地域に信頼され愛される学校の取組みを通して、社会的貢献ができる生徒を育てる</p>
学習指導要領 第1目標	<p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながらか、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p>
目標	<p>① 冷静な目で客観的に物事を見つめ、考えることのできる力</p> <p>② 熱意を持って主体的、協働的に物事に取り組める力</p> <p>③ 身の回りや、社会、世界の課題を見つけることのできる、課題発見力</p> <p>④ 設定した課題（仮説）を論理的に分析し、根拠ある意見を導き出せる情報収集力・立証力</p> <p>⑤ 多様性を理解し仲間を支援、安心できる関係を作りながら、課題（仮説）の解決を提案することのできる力</p> <p>⑥ 最後まで諦めず、自らを他者ととも高め合っていく能力</p> <p>⑦ 楽しむことを忘れず、何事も恐れず、取り組むチャレンジ精神</p> <p>⑧ これまでになかったものを考え、生み出す力</p>
	<p>SDGsを自分の問題とし協働して解決する「学びに向かう探究学習」の実現に向け、探究の質を向上させるための授業改善や指導計画の改善を推進することで、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していく資質・能力の育成をめざす。</p>

1年 になりたい自分・理想の社会とは

※ キーワードは「知る・深める」	これまで・これからの社会の変化を主にテーマとして取り上げる
ピアマインドセットの醸成：「になりたい自分とは？」＝ 学び合う仲間として安心できる関係とは何か、について考える。□	
身近にある関心領域の発見：日常の中にある「困り感」から出たアイデアや商品を知り、「困り感」からアイデアに繋げるプロセスを学ぶ。	
身近にある関心領域を深める：日常の「困り感」を解決するアイデアを提案する。	
SDGsに基づいた関心領域の発見：世界に目を向け、自分たちのアイデアをクラウドファンディングで発信する。	

2年 持続可能な世界をどうつくるか？

※ キーワードは「広げる・創り出す」	SDGsをメインテーマに据えて探究活動を行なっていく
自己の理解から堺市への提案	
北海道の農村からSDGsに迫る	
ピアマインドセットをもち、SDGsに取り組む探究学習	

3年 Work as Life

※ キーワードは「繋げる・挑戦する」	次に繋げること、これから出ていく社会との関わり方について考える
探究の手法を用いて自身のキャリアを見つめ目標を再設定する。	
卒業後の社会との関わり方を意識し、自分たちができるとの仮説を立てる。	
一生を通して学び続け、繰り返し自己の在り方生き方を問い続ける。	

<p>東百舌鳥高校 3つのポリシー ※ 「関連単元配列表」「新カリキュラムの作成」</p> <p>(1) ディプロマ・ポリシー（卒業までに身に付ける資質・能力、生徒育成方針） ← 「めざす学校像」「中期的目標」 「人生の物語を編める生徒」を育てる学校づくり、校長のプレゼン・「育成する生徒像」研修 等</p> <p>(2) カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施方針） ディプロマ・ポリシーと照らし合い各教科・コースで育成したい力、それを実現するための教育課程を検討</p> <p>(3) アドミッション・ポリシー（求める生徒像）</p>
--